



かくりんじ

第20番・鶴林寺の山門



令和元年盛夏
鯖大師本坊 柳本明善



暑中お見舞い申し上げます



発行所

〒775-0101
徳島県海部郡海陽町浅川
鯖大師本坊同行二人会
電話 (0884)73-0743
FAX (0884)73-3405
編集人 柳本明善
印刷所 徳前野印刷

<http://www.sabadaishihonbou.jp/>



鯖大師本坊の
携帯サイトです。

平成三年二月、第一回満足行を始めて令和元年六月、第十五回目を開始、本年で三十周年を迎える。
満足行は、お大師さまが修行された四国八十八ヶ所霊場を自分の身をもって歩き、お大師さまがいつも見守ってくれる同行二人のご誓願を体得する修行であります。
第一回目は平成三年二月、香川県詫間町の石原満治師を先達として五十名で修行、六月、十一月、平成四年二月、六月、十一月と全六回、四十七日間、四国八十八ヶ所霊場、番外も含め百ヶ寺を参拝、平成四年十一月二十七日、高野山・奥ノ院を参拝、結願致しました。
第一回目は五十名と大人数での巡拝、初対面同士の集団行道での意見の違い、また道中怪我があったりと大人数ならではの難しさがありました。
また巡拝時期が二月と六月、十一月と寒中、梅雨、晩秋と、季節の厳しい時、積雪、大雨、台風にも遭遇しました。



第12番・焼山寺(平成3年2月23日)

今回、遍路道で逢った言葉に、
速く歩くか ゆっくり歩くか
何ん日で廻るか なん回廻るか
そんな事より しつかり歩け
そして何かをのこせ
この言葉の気持ちで巡拝したいものです。
合掌

であります。

写真部記者、後藤能大氏の作品として鯖大師に飾ってあります。
第九回、平成十九年の巡拝より四国別格二十霊場も巡拝コースに加え参拝、コースが幾分ハードになりました。
第一回目以来の参加者数は延四百二十四名、今は毎回、十数名の参加者で修行しています。
本年六月、第十五回パート(1)の修行を終え十一月には土佐霊場をパート(2)として修行する予定であります。

写真は同行された徳島新聞
りは少し雪が舞う程度でした。焼山寺宿坊に宿泊した翌朝30cm以上の積雪、麓の鍋岩まで滑ったり転んだりして下山した事が今も想い出されます。
今もその時の写真は同行された徳島新聞

心を洗い 心を磨く
まんぞくぎょう
満足行三十周年を迎えて

特に印象深いのが、
第一回目の平成三年二月二十三日、第十二番・焼山寺で大雪に遭った事です。焼山寺への登

人んろ道の言葉
花や実日みんな
あなたの先祖さま

鯖大師ホームページ
URL
<http://www.sabadaishihonbou.jp>

※ホームページでは鯖大師由来、過去の鯖大師だよりの掲載、護摩祈願、ご供養等のお申し出、またお線香のご注文等お受けしております。

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く



歩く遍路 満足行巡拝

第十四回、パート(6)
平成三十一年二月十六日より
平成三十一年二月二十日

四国遍路の元祖、衛門三郎の故事に習い、平成二十九年六月十七日より始めました第十四回、満足行逆巡拝、今回、第十番・切幡寺より第八十八番・大窪寺、別格二十霊場、第二十番・大瀧寺、第四番・鯖大師本坊、高野山奥ノ院参拝を以って結願満願とする巡拝である。

逆巡拝の御礼参りは第十番・切幡寺から第八十八番・大窪寺



第八十八番・大窪寺

巡打ちの御礼参りは大窪寺から切幡寺であるが今回は逆打ち、切幡寺から大窪寺に巡拝する。切幡寺を参拝し県道二号線を日開谷川沿いに大窪寺に向かう。

結願所、大窪寺は森閑、底冷え

大窪寺には昼過ぎに着く、春には多くの参拝者で賑わう境内も静寂、御宝前に座し



世界遺産 丹生都比売神社

大窪寺近くの道は凍っていて足元が滑る。大瀧寺の標高は、雲辺寺、高野山と同じ



四国別格 第二十番・大瀧寺

八十八ヶ所結願のお勤めをする。別格霊場第二十番・大瀧寺を目指し徳島県美馬市脇町に入り夏子ダムの近くまで歩く。十七日早朝、ライト片手に大瀧寺への林道を歩き平棚から山道を登る。落ち葉、倒木、残雪と歩きにくい。

る。標高九〇〇mの境内には残雪、本堂前に座しお勤め、眼下には雲海、しばらく居ると底冷えがしてくる。大瀧寺より車で下山。徳島市から鯖大師本坊に向かい、へんろ会館に宿泊して護摩修行をする。十八日、徳島港五時過ぎのフェリーに乗船、和歌山港より岩出市に向かって歩く。

紀の川沿いの道は雨と風



世界遺産 町石道を行く

国道沿いに「紀の川は長い長いと鳴く雲雀」の句碑、二時に慈尊院に着き本堂に上がらせていただきお勤め。ご住職より茶菓のお接待をしていただく。

最終日は高野山への道、世界遺産「町石道」を登る。五時過ぎ慈尊院を出発、しばらく登ると高野口町、紀の川市の夜景、一町毎に建てられた町石を目印に杉並木の六本杉、鳥居が二つ並ぶ二つ鳥居、丹生都比売神社。

世界遺産、町石道は霊跡

矢立で国道三十七号線と交差、袈裟掛石、押上石、鏡石と霊跡の道を登り大門直下の

高野山・奥ノ院参加者一同



急登に喘ぐと山上、奥ノ院に急ぎお勤めをして満願とする。

平成二十九年六月より六回、五十四日間、一三・八七kmを歩き結願、満願致しました。

毎日、早朝より、時には風、時には雨に打たれての巡拝でしたが事故もなく無難無事に巡拝することが出来ました。お大師さまのご加護、同行者の協力、道中多数の方々より応援をいただきました。心より御礼申し上げます。

歩行距離 一一四・五km 合掌

ブログ

「鯖大師本坊歩き遍路・沙門明善」

*満足行修行の道中日記や写真をブログで更新しています。ご覧下さい。

満足行満願体験記



倉敷市

中山 素身

満足行は十日間程を年三回、全六回を二年かけて高野山・奥ノ院まで巡拝します。住職さんの話で、一周目「がむしやら」

第十四回
満足行逆巡拝、満願者

宮城県	伊藤	とよ子
宮城県	畠山	さち子
岡山県	中山	素身
広島県	高野	仁美
広島県	大石	正登
徳島県	横川	武美

二周目「しったかぶり」、三周目「まあまあ」の遍路だと言われました。厳寒、猛暑、暗闇の早朝出発、歩いて歩いて集中して拝むことが最も重要だと教えられました。厳しい遍路道、人に遅れまいと喘ぎながらも必死の思いで歩いていると「ホーホケキョ、ケキョケキョ」と驚きの声「ガンバレ、ガンバレ」と聞こえる事があります。疲労困憊も、一夜の宿の暖かな食事とお風呂の有り難さは、厳しい修行故に感謝の念が幾倍にも感じられます。

「がむしやら」「しったかぶり」「まあまあ」遍路の体験で気付いた事。「安全快適便利」に浸かった生活を離れ「危険苦痛不足」に身をさらす事で、感謝、思いやり、我慢、信頼、尊敬、信心、人の尊厳を教えられました。

大自然、優しい四国の方々、参加仲間とのふれ合い、心の葛藤の中で鯖大師のキャッチフレーズ「心を洗い、心を磨く」を成就できたかは、まだまだ未知であります。

結願にあたり鯖大師住職さん、高松先達さん、遍路仲間の皆さん、ありがとうございました。心から感謝いたします。

合掌

人生即遍路

四国八十八ヶ所霊場・別格二十霊場

心を洗い、心を磨く

歩く遍路
満足行巡拝

第十五回、パート(1)

令和元年六月十八日より
令和元年六月二十六日

『満足行三十周年記念巡拝』

今回の巡拝が満足行三十周年、恰も令和元年からの巡拝である。

六月十七日、第一番・霊山寺の横、大鳥居苑に初日の参加者十四名が集合する。十八日朝五時前、木立に覆われた霊山寺御宝前に座しお勤めをする。第二番・極楽寺、第三番・金泉寺は近い。金泉寺の大師堂は靴のまま堂内に入れる。第四番・大日寺、第五番・地藏寺と打ち別格第一番・大山寺、標高四百五十mに登る。本堂下の石段に喘ぐ、お勤め後、スイカとぜんざいのお接待がうれしい。

十里十ヶ寺の山門は立派

第二番・極楽寺、第三番・金泉寺、第六番・安楽寺、第七番・十楽寺は朱塗りの山門、第八番・熊谷寺の山門は四国一、一昨年は修繕中であつたが雄姿を披露、第九番・法輪寺の御本尊は四国で唯一の涅槃釈迦如来像、

第三番・金泉寺 水子観音



第十番・切幡寺を打ち吉野川を渡り第十一番・藤井寺に歩く。

四国遍路のハイライト、焼山寺登り

四国の遍路道を代表する藤井寺から焼山寺の十二kmの遍路道、長戸庵、柳水庵、巨大な修行大師像の一本杉、浄蓮庵から焼山寺への急登は厳しいが四国遍路を満喫させてくれる。



長戸庵

麓で一泊、玉ヶ峠から鮎喰川沿いに歩き別格第二番・童寺、一昨

第十八番・恩山寺へは地藏峠越え

年本堂が焼失、小さな白い山門が寂しげに佇む。第十五番・国分寺の本堂は修復工事中、第十四番・常楽寺と打ち第十三番・大日寺、第十五番・観音寺から第十七番・井戸寺は近い。立派な長屋門が印象に残る。

幽玄、神秘、星の岩屋と慈眼寺

星の岩屋を参拝する。水量豊かな裏見の滝、いつ参拝しても特別の雰囲気がある。慈眼寺は穴禅定修行、今回は時間の都合で一部の者が修行する。

第二十番・鶴林寺には勝浦川を渡り棚野より登る。境内の掃除が行き届き山門が絵になる。鶴林寺から那賀川に下り水井橋より第二十一番・太龍寺への登り。

西の高野山、太龍寺

太龍寺では大師堂に入れていただき参拝、高野山の奥ノ院と同じ形式である。

南舎心ヶ獄より中山道を下り阿瀬比に出て竹藪のへんろ道を歩き第二十二番・平等寺。平等寺から国道五十五号線に出て美波町由岐と歩く。

心なごむ海沿いの遍路道

厄除けで有名な二十三番・葉王寺を参拝して国道五十五号線を歩き、牟岐町の谷井さん宅でお昼のお接待をいただき別格第四番・鯖大師本坊に昼過ぎに着き、今回の巡拝を終る。

非常にハードな遍路修行でしたが事故もなく無事に終わりました。お大師さまのご加護に感謝致します。

合掌
歩行距離 二二四、七km

満足行逆巡拝



第二十一番 太龍寺 舎心ヶ獄

百八煩惱消滅の道
歩くも遍路
満足行代参巡拝



四国八十八ヶ所霊場・別格二十ヶ所霊場

百八ヶ寺、百八回のご祈願
あなたに代わり、歩いて巡拝

令和元年十一月 十九日(火)

十一月二十六日(火)

八日間

第十五回、満足行パート2は、第二十四番・最御崎寺より第三十六番・青龍寺まで歩いて巡拝致します。

お四国をお参りしたくても出来ない方歩いてお参りしたくても出来ない方

あなたに代わり歩き、お願い事を百八ヶ寺の御宝前にてお大師さまにお願い、ご祈願させていただきます。

ご祈願料(一人一願)

二千元以上

※代参ご祈願ご希望の方は十一月二十日までにお申し出下さい。代参巡拝後ご祈願札をお授け致します。

自分の道を見つけよう、幸せの道を見つけよう！

発心の道場・修行の道場、土佐を歩いて巡拝いたします。お大師さまの同行二人のご誓願を身を以て修行する。

日時：令和元年11月19日(火)～

11月26日(火) 8日間

集合：令和元年11月18日(月) 午後5時

別(4) 鯖大師へんろ会館

巡路：別(4) 鯖大師本坊～第24番・最御崎寺
第36番・青龍寺まで

(歩行距離 196,5km)

参加料

10,000円

障害保険料、渉外費に充当

※奉納経料金、宿泊代、昼食代は各自、個人負担。



※参加申し込み〆切日 令和元年10月25日

参加ご希望の方は巡拝資料、申込書をお送り致します。

秋の彼岸・ご供養のお勧め

お彼岸は年二回、春分の日と秋分の日を(ちゅうにち)とし前後の三日間を合わせた七日間をいいます。
この日は昼と夜の長さが同じとなり、仏教では「迷い」と「さとり」の境地であり「現世」と「浄土」の接する日といわれ迷いのこの世界から、川の向こう岸の悟りの世界に渡るための教え(六波羅蜜)を守り、日々の行いを慎むのが本来の彼岸の意味です。

六波羅蜜とは

彼岸の入りから明けまで七日間

一霊 三千元

【布施】他人へ施しすること

【忍辱】不平不満を言わず耐え忍ぶ

【持戒】戒を守り、反省すること

【精進】精進努力すること

【智慧】真実をみる智慧を働かせる

本来は毎日心がける事ですが、日頃は忙しく実行できないまでも春と秋の年二回くらいは六波羅蜜を実践し、自然の恵みをたたえ生物を慈しみ、生かされている私たちが、ご先祖さまに対する感謝の気持ちでのご供養下さい。

令和二年度

壹ヶ年間「月命日」献灯(壹万円)

仏教では苦しみの根源、迷いや煩惱を「無明・むみよう」と言います。炎は不浄を燃やし魔を除き浄化して清める働きをします。光明は人が煩惱の暗闇から脱却するための道を明るく照らし、仏の智慧と救いを現します。この献灯を供えることが明かりを頼りに現世の私達のもとへ導かれ、智慧を以て悟りを得る手助けとなります。

無明を照らす光明
ご先祖さまと現世を結ぶ架け橋
献灯供養

大不動明王

永代奉安

お不動様のお力に
おすがりして
あまねく悪を退け
本当の幸福という名の
功德をつかんで
頂きたいのです

永代ご祈願大不動明王



ご祈願 願主奉納料
金 参拾萬圓也

護摩堂内に奉安・永代に
ご祈願申し上げます。
身丈 54cm 重さ 8kg

大不動明王願主 ご芳名

香港

黄 孔 楊 梁 蕭 阮
美 錦 頌 子 美 冠
花 榮 詠 才 娟 冲
合家 合家

平成三十年十二月一日より令和元
年六月三十日まで奉納祈願された
方です。ここに厚く御礼を申し上げ
ます。
(敬称略)

八十八ヶ所お砂ふみ 蓮華台奉納供養のお願い

不動洞内、八十八ヶ所各霊場ご宝前に立体的な蓮華台を設置。蓮の華にいだかれながら、お砂ふみ修行をしていただきます。
今、私たちはご先祖様の尊いご縁で生かされており、また毎日あらゆる力のおかげで生活しております。この尊いおかげの心をご供養するお気持ちで蓮華台奉納のお申し出をお願い致します。奉納供養は一口壹万円とし各霊場側面に府県名、ご芳名を記し永代にご供養させていただきます。
合掌

蓮華台奉納のお申し出

をしていただける方
は、お願い事、施主名
をお知らせ下さい。
※申し込み用紙をお送
り致します。

一口壹万円

※一人何口でもお受けいたします。



山田 太郎

(一ヶ寺30名様完成品)
奉納者名は不動洞にて永代
にご供養致します。



奉納数は一〇八ヶ寺で終了
とさせていただきます。

蓮華台奉納願主ご芳名

第八十四番
屋島寺

兵庫県
遠周 照峯

岡山県
牧野 孝子

平成三十年十二
月一日より令和元
年六月三十日まで
に奉納祈願された
方です。
(敬称略)



不動明王・地藏尊 ご浄財ご芳名(二万円以上)

香川県
浮田 トシ子

佐賀県
桑原 高士



平成三十年十二
月一日より令和元
年六月三十日まで
にお花代、お供え
として奉納された
方です。ここに厚
く御礼を申し上げ
ます。
(敬称略)

千体地藏尊奉安 ご祈願のお勧め

ご先祖・法名、あなたのお願ひする
ことを地藏尊石仏に刻印。
鯖大師本坊境内、水琴水掛地藏尊の
並びに奉安。永代にご祈願。

千体地藏尊
奉安ご祈願料

拾万円

※石刻印 一文字 五百円



奉安ご祈願・千体地藏尊

※奉安・ご祈願の方はお申し出下さい。

千葉県 秋谷 光枝	静岡県 田中 静江	香港 黄 健生	香港 李 碧坤	中国 黄 嘉琳
富山県 坂東 智夫 (二体)	静岡県 島津 義隆	莊 婷婷	陳 志雄	
岐阜県 西岡 正明	滋賀県 西村 美穂	余 群如	孔 令兒	
岐阜県 西岡 清美	滋賀県 西村 向葵	曾 漢如合家	孔 鐸桑	
静岡県 山口 勝己	福岡県 多田 忠 (三休)	李 麗華 (二休)	周 昀蔚	
		羅 鸞寶	周 昀瑩	
			オーストラリア 陸 茵園家	

百衣観音奉納願主ご芳名

三十三観音霊場永代奉安

白衣観世音菩薩

為山田家先祖代々菩提



願主
徳島県
山田 太郎

私にちを苦みはな
救い導く仙
観音さまに願いを
一願一体
壹萬円

般若心経折紙

願掛け千羽鶴

千枚・二千元 (荷具送料別途)

ご病気の方の快復を願い、子宝、出産、試験等の諸願成就のため、亡くなられた方の慰霊鎮魂の為、様々な願いを鶴に込めて願いを成就下さい。

平成三十年十二月一日より令和元年六月三十日まで奉納祈願された方です。(敬称略)

鯖大師・多宝塔

壹萬羽鶴

一羽・千円

鯖大師では皆様の願い、壹萬人の想いを募り般若心経の書かれた紙に願いを込めて折って戴いた鶴「壹萬羽鶴」のご奉納祈願を発願致しました。

皆様の願いを多宝塔の観音さまにお供えし、飛天さんに天空へと届けて戴きます。

「お願い事、お名前を書き、一折り、一折りに想いと祈りを込めて一羽の鶴を完成させて下さい。」

奉納折鶴 二、四口口羽

右記の数は、平成二十五年十一月三日より令和元年六月三十日までの累計です。

『七千文字』ご奉納
願主ご芳名

静岡県
山本英子
兵庫県
岡田博充



ご奉納文字数
五百三十一文字目

般若心経塔ご浄財
ご芳名 (二万円以上)

北海道
吉鷹美枝
佐賀県
田中康夫
東京都
大松慈永
佐賀県
桑原スミ代
東京都
飯島睦子
愛知県
伊藤富子
京都府
四方百合子
兵庫県
松浦幸子

平成三十年十二月
一日より令和元年六
月三十日までにお花
代、お供えとして奉
納された方です。こ
こに厚く御礼を申し
上げます。
(敬称略)

般若心経 多宝塔

お写経奉納のお願い

鯖大師本坊ではご信者の皆様、ご参拝の方々のお写経を多宝塔に奉納致します。

皆様のお写経奉納をお願いします。
お写経奉納の方はお送り下さい。お申し出いただいたお写経は多宝塔に奉納させていただきます。
奉納お写経用紙をご希望の方はお申し出下さい、お送りします。



心経塔 (多宝塔)

お写経用紙

(三十枚つづり)

一冊
荷具送料
千円
三百円

お写経奉納料
一卷(一枚) 千円

奉納お写経 九九、五二二巻

右記の巻数は、平成二年十二月一日より令和元年六月三十日までの累計です。

本堂内幕・外幕
ご奉納

大阪府

小林 貞子

(敬称略)



大師堂幕ご奉納

神奈川県

天城 和美

(敬称略)



毎月、御縁日法要

(各・午前10時より)

観世音菩薩・御縁日

毎月、十八日

お大師さん・御縁日

毎月、二十一日

地藏菩薩・御縁日

毎月、二十四日

不動明王・御縁日

毎月、二十八日

毎月各尊、御縁日には精進供をお供えして
梵唄を唱え御縁日法要を厳修します。

※都合によりお勤め時間の変更になる場合もあります。



合掌

日本は夏至・冬至・春分・秋分を併せ「二至二分」とし、重要な節氣を立春・立夏・立秋・立冬の「四立」とし、この二至二分と四立を併せて「八節」とします。

人の運氣は二月三日の節分で大きな節目を迎えますが、月、日、時、秒においても運氣が変化します。この月の初め「朔日」に良い月を過ごせます様にご祈念申し上げます。

一座・五千元

毎月、一日
特別護摩祈願
FUDOMYOO
ついたち
必月の初めに願いを祈る
午前十時

お盆供養のご案内

八月 十三日 十四日 十五日

私たちの命の源はご先祖さまで。このありがたい、ご先祖さまをご供養することによって今、生きている喜びを味わうことが出来るのです。

命の源、ありがたいご先祖さまをご供養しましょう。

ご供養ご希望の方は至急にお申し出下さい。

進徳小箱用物

三、五〇〇円
一、七〇〇円
八、五〇〇円

福の花

蓮華の香り

良いお香を焚き、亡くなられた方にお供えするのは、お盆やお彼岸で帰られたご先祖さまへの最高のおもてなしです。

特別な日には、故人を敬い良質なお香を焚き大切な方をお出迎え下さい。

合掌

大切な人をお迎えする
— お盆・お彼岸 —
特別な日に
特別な香りを



鯖大師名香
福の花

四国霊場
鯖大師本坊特選

※10月より消費税増税の為、価格に変更が有ります。